

会場案内図

九州エネルギー館

〒810-0022 福岡市中央区天神1丁目10-55
TEL. (092) 522-2333



- 西鉄バス、城南線「南菜園」バス停下車、徒歩約5分。
- 西鉄バス「浄水通（九港体育館前）」バス停下車、徒歩約1分。

主催

社団法人
福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市東区博多駅前1丁目13番12号
TEL.092-461-0431 FAX.092-461-0432

後援

福岡県

協賛

- 社団法人ビル管理教育センター
- 社団法人福岡ビルメンテナンス協会
- 社団法人福岡県警職業協会
- 社団法人福岡県産業廃棄物協会
- 社団法人福岡県建築士会
- 日本環境管理学会九州支部
- 社団法人高層住宅管理業協会九州地方支部
- 全国警備員厚生協会
- 社団法人全国建築材料水質検査協会福岡支部
- 福岡県管工事業協同組合連合会
- 福岡県ベストコントロール協会
- 福岡ガラス外装クリーニング協会
- 福岡県ビル管理協同組合連合会

2001

都市ビル 環境の日



行事
プログラム

都市ビル環境の日

10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

コミュニティの快適な環境創造をめざして

都市は人類の生命活動から考えるならば、人々が交流するコミュニティと捉えることができます。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。ビルで営まれるさまざまなコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全で衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、

都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住み易い街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

私たち社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりをアピールしていきます。

本年度のテーマ

「シックビルを考える」

21世紀を迎えた都市ビル群は、いまや高度な建築的環境にその基盤を置いています。そのことは建築物本体は勿論のことですがそれ以上に建築施設の適正な保全管理に、より大きな比重が移ってきたことを意味しています。

高度経済成長時代のビルストックはいわゆる“スクラップアンドビルド”の価値観で運営され、ともすればメンテナンスが軽視される傾向にありました。ところが近年の建築物は高層化・高度情報化・オフィスオートメーション化に対応するためにその内在する人工的環境を、より複雑に高度化せざるをえませんでした。そのインテリジェント化は自らの機能を維持するために、反対に人間にとっての安全で衛生的かつ快適な環境を阻害する事象を生んだことに注目しなければなりません。ここに質の高い保全管理（メンテナンス）が必要となってきた理由があります。

今回のシンポジウムでは、近代建築技術の粋を集めたインテリジェントビルが不健康なビルの汚名であるシックビルとなる危険性について、メンテナンスの立場から検証を進めたいと考えます。

シックビル病が発生しているのは、“省エネビル”と呼ばれる再循環空気を広く利用する全館空調システムの建物です。エネルギーの経済性と空気質に関する矛盾が顕在化したものとも捉えることができます。シックビル病発生のメカニズムは単純なものではありませんが、主に換気不良による炭酸ガスや一酸化炭素の増加や複写機・静電式空気洗浄機・煙草の副流煙から発生する炭水化合物、また新材材のホルムアルデヒドなどの汚染物質がその要因と考えられます。さらにこれらの汚染物質が蛍光灯の光線と光化学反応を起こし、オキシダントやオゾンといったさらなる有機物質をつくり出し、居住者の粘膜組織や呼吸器機能に障害を及ぼすのです。このように居住者から目まい、吐き気、頭痛、平衡感覚失調や目・鼻・喉の痛みなどの身体的不調を訴えられ大きな社会問題となったのが、いわゆるシックビル症候群と呼ばれるものです。

かつての公害時代に大気汚染から光化学スモッグが発生しましたが、いまその光化学スモッグが姿を変えて省エネビル内に出現しつつあると考えられないでしょうか。そして、そのスモッグ・バスターの責任者は私たち建築物の維持管理保全に携わる者において他にないことを深く認識したいと考えます。

Message

衛生的で快適な
環境の確保に向けた
より一層の努力を



(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長
青木 博志

1995年より毎年行われてまいりました「都市ビル環境の日」も7回を迎えました。「都市・ひと・自然を考える」を目的とし、我々の仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目指し、毎年「グリーンアップ福岡」を展開しました。テーマを決めてのシンポジウムを行ってまいりましたことは、福岡県をはじめとする関係行政、諸団体並びに業界の皆様の御指導、御協力の賜だと真心より感謝申し上げます。

また、本行事を企画・実施し、積極的なご参加とご支援を頂いております(社)福岡県ビルメンテナンス協会の会員の皆様に対し心より謝意を表する次第でございます。

私たちビルメンテナンス業は、建築物の衛生的環境並びに快適さ、安全の確保をも取り重要な業務だと考え日々業務に取り組んでいるところでございます。

さて今年のシンポジウムのテーマは、「シックビルを考える」をテーマと致しました。

近年、建築物内の病原微生物に起因する新興感染症の発生やシックハウス症候群などの原因とされる室内空気汚染、さらには多量に排出される廃棄物の処理など、様々な問題が深刻化しており、建築物における衛生的で快適な環境を確保することがますます重要であるといわれております。

このような中、シックビルとなる危険性について、我々の業務であるメンテナンスの立場から検証を進め考えたいと思っております。

21世紀を迎え、またまた環境衛生面において考えなくてはならない問題、また新しい問題も発生してくるであろう時代に「都市・ひと・自然」を考えていきたいと思います。

関係各位の皆様には御指導御理解の上、さらなる御協力、御支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

ビル環境問題に対する
時期を得た取り組みの
成果に期待します



福岡県知事
麻生 渡

第7回「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、設立以来、長年にわたり建築物の衛生的環境や安全性の確保を目指して関係業者の指導育成などに御尽力され、快適な都市環境づくりにその成果を収めてこられました。これもひとえに、協会の皆様の熱意とご努力のたまものと心から敬意を表します。

現代のビルは社会・経済の発展に対応して著しく変貌を続けており、最先端の設備や情報システムなどを装備し、その機能は非常に高度化・複雑化しております。これに伴い、ビル内で長時間を過ごす人たちの快適で衛生的なビル環境の確保は大変重要になっております。

このような中、貴協会は、全県に先駆けて、平成7年から「都市ビル環境の日」を設け、毎年、建築物におけるさまざまな問題について研究を進めるとともに多くの方々の参加を得て「グリーンアップ福岡」として公共の場の一斉清掃の実施により都市の快適な環境づくりに貢献してこられました。

今年は「シックビルディング症候群」をテーマとしてシンポジウムが開催されますが、現在のビル環境問題を深く考え解決していく上で、時宜を得た大変有意義なテーマであると考えます。この成果に大きな期待をしております。

福岡県としては、高齢化や障害者をはじめすべての県民が参加できる社会を形成するため、多くの人が利用する建築物や道路などのバリアフリー化を進めるとともに、室内空気環境に関する普及啓発および相談体制を充実していくなど、県民の安全で快適な生活環境づくりに積極的に推進してまいります。

記念行事のご成功と貴協会の今後のますますのご発展、会員の皆様のご健勝を心から祈念します。

貴協会の皆様と共に
魅力あるまちづくりに
積極的に取り組みます



福岡市長
山崎 広太郎

「都市ビル環境の日01」の式典が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

貴協会の皆様には、日頃から本市の生活衛生行政の推進に多大のご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、近年、居住空間やオフィス空間においては、快適な生活環境への意識の高まりや地球環境を配慮した省エネルギー対策などにより、高気密・高断熱化の建築物が一般化してきております。

これに伴い、ビルの空気環境等を原因としてビルで働く人が目やのどの刺激、頭痛などの身体的症状の訴えを起す「シックビル症候群」が社会問題化してきております。

また、ビルの冷却塔や給湯設備などの人工的な水環境を原因としたレジオネラ症も施設管理上の大きな問題となってきております。

このような状況のなか、ビルの良好な衛生的環境の確保をめざし、「シックビルを考える」というテーマで本大会が開催されますことは、大変時宜を得たものであり、また、有意義なものであります。

福岡市におきましては、平成13年4月から従来の福祉部門と保健衛生部門を統合した保健福祉センター（保健所）を各区に設置するなど、急激な社会環境の変化に的確に対応し、市民生活の豊かさを高め、魅力あるまちづくりに向けた取り組みを進めております。

このような中、市民が一日の大半を過ごす建築物の安全で衛生的環境確保の重要性は、ますます高まっていくものと考えております。

安全な市民生活の確保のため、今後とも貴協会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、貴協会のご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

「知恵の時代に」ふさわしい
未来型産業都市の
構築をめざします



北九州市長
末吉 興一

「都市ビル環境の日01」の記念行事が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、設立以来建築物をより安全かつ衛生的で、快適な居住環境に作り上げるため関係業者を熱心に指導育成され、多大な成果をあげておられることに対し、深く敬意を表します。

近年、地球環境保全の立場から省エネルギーの考え方が浸透し、建物の気密化や空気の再循環をすすめています。しかし、このことにより換気量の不足などによる空気環境の悪化や、シックビル症候群など新たな問題を発生させています。このような状況のなか、貴協会が10月4日を「都市ビル環境の日」に設定し、今日解決しなければならない課題の一つになっている「シックビルを考える」のテーマでシンポジウムを開催されますことは、誠に時宜を得たものと思います。また、現在北九州市で開催している博覧祭の「ペリオン」では、入場者の方に快適に過ごしていただくため、皆様の高い空気調和技術などがいかされています。皆様の日頃からの市政に対するご協力に対しまして深く感謝申し上げます。

本市は、1901年に官営八幡製鉄所の溶鉱炉に火が入って100周年を迎えます。この間、近代産業発祥の地として日本の近代化に貢献してきました。21世紀は、これまでの規格大量生産の時代に代わり、発想や創造を重視する「知恵の時代」を迎えます。北九州市は「ものづくりのまち」としての特性を生かし、新世紀にあっても「知恵の時代」にふさわしい、優れたデザインや付加価値の高い製品を生み出すことのできる「未来型産業都市」を目指したいと考えています。そのための知的基盤として北九州・学術研究都市の整備などさまざまな施策を進めています。このように飛躍する準備が整いつつある北九州市を世界にアピールし、次の100年のあり方を提案するため「響きあう人・まち・技術」をテーマに「北九州博覧祭」を11月4日まで開催しています。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

（社）福岡県ビルメンテナンス協会のますますのご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

2001 都市ビル環境の日

行事内容

シンポジウム

開催日時：平成13年10月4日（木）13：30～16：30

開催場所：九州エネルギー館

テーマ「シックビルを考える」

総合司会 藤 甲子郎
（（株）西日本ビル代行 代表取締役）

- | | | | |
|----------|----------------|--|--|
| 13：30 | 開会挨拶 | （社）福岡県ビルメンテナンス協会 会長 | 青木 博志 |
| 13：35 | 来賓挨拶 | 福岡県知事 福岡市長 北九州市長 | 麻生 渡 山崎広太郎 末吉 興一 |
| 13：50 | 基調講演 | 日本環境管理学会 理事 | 医学博士 村松 學 |
| 14：50 | 研究発表（ジョイントワーク） | （株）朝日ビルメンテナンス （社）福岡県ビルメンテナンス協会 | 技術部 青年部 |
| —— 休憩 —— | | | |
| 15：30 | パネルディスカッション | パネラー 日本環境管理学会 理事 （有）大部設計事務所 東洋ビル管理（株） | 医学博士 村松 學 代表取締役 大部 浩 代表取締役社長 西田 光博 |
| | | コーディネーター（株）朝日ビルメンテナンス | 代表取締役社長 金子 誠 |
| 16：30 | 閉 会 | | |

クリーンアップ福岡

日 時：平成13年10月4日（木）10：30～12：00
場 所：福岡県下主要都市中心部及び会員受託物件の周辺
行 事：公共施設の清掃及びゴミ収集

都市ビル環境の日 シンポジウム

基調講演



日本環境管理学会 理事
医学博士
村松 学
1952 2020

Profile

昭和10年生
明治薬科大学(衛生薬学)卒業
東京医科歯科大学医学部専攻生 修了
(公衆衛生学教室)
埼玉医科大学医学部専攻生 修了
(公衆衛生学教室)
東京朝日新聞(衛生部・保健所勤務)
東京朝日新聞(衛生部)衛生課長 初代ビル
衛生管理担当

医学博士
技術士(衛生工学部門) 第1期

近畿野女子大学講師
ビル管理教育センター統括管理者試験
委員・編集委員
学切離脱推進委員会委員(文部科学省)
杉並区建築衛生委員会
昭島市特別顧問会議委員
日本環境管理学会理事
室内環境学会前会長

主な著書

書籍編定と記録
はじめてのビル空調
環境衛生学実験
学校環境衛生のチェックリスト
在宅介護と環境保健
市民の住まいと居住政策
空気清浄装置設置管理指針
空調設備の維持管理指針
ビル管理ハンドブック
空気調和衛生工学便覧 第12版
環境管理

オーム社
丸
講解社
オーム社
〃
学研書房
空気清浄協会
ビル管理教育センター
オーム社
空気調和衛生工学会
コロナ社

パネルディスカッション

コーディネーター



(株)朝日ビルメンテナンス
代表取締役社長
金子 誠

Profile

昭和27年生まれ。
早稲田大学卒業。
(株)福岡朝日ビルメンテナンス協会
理事(経営研究委員会)
(社)全国ビルメンテナンス協会
BMネットワーク専門委員
(社)福岡朝日ビルメンテナンス協会
青年部副部長
(財)建築物管理訓練センター九州
支部 指導講師副部長

パネリスト



日本環境管理学会 理事
医学博士
村松 学

Profile

左記に記載



有限会社 大部設計事務所
代表取締役
大部 浩

Profile

昭和27年生
関東学院大学工学部建築設備工学科卒業
一級建築士
建築士
(社)福岡県建築士会員



東洋ビル管理(株)
代表取締役社長
西田 光博

Profile

昭和31年生
大分大学工学部卒業
(社)福岡朝日ビルメンテナンス協会
青年部部長

都市ビル環境の日 「クリーンアップ福岡」

21世紀「クリーンアップ福岡」の 更なる躍進を!!

都市環境の一翼を担う我々会員が私心なく集い行われる「クリーンアップ福岡」は、市民、行政から年々評価が高まっており、我々会員の取り組みが間違っていなかったと確信をもって言えるようになって参りました。また、他県協会においても我々協会の取り組みについて非常に高い関心と反響を呼んでおり、全国においても福岡県協会の取り組みが重要なインパクトを与えております。

これも我々会員の90%近くの方々がこの「クリーンアップ福岡」に参加され真剣に取り組んでおられる結果であります。また、本年度より「クリーンアップ福岡」「都市ビル環境の日」に関する特別委員会が発足し、更なる飛躍を図って真剣な討議が行われております。

新世紀の第一歩、新しい組織の公益法人としての第一歩、「クリーンアップ福岡」の大きな歩み、更なる躍進を誓います。

クリーンアップ福岡に寄せて

保坂 金作 (株)九州ダイケン

第7回クリーンアップ福岡が本年も各地において担当役員のもと計画されており、都市ビル環境の日行事の一環として初回から参加させて頂いている一人として同慶に存じます。

回を重ねるごとに参加する仲間の数も増え、地域社会にこの運動を通じて些かなりとも貢献が出来たことを共々喜び合いたいと思います。

協会員の協力はいうに及ばず賛助会員各社のご協力に、また集積した大量の廃物の運搬処理を毎回して頂いております企業各社にも心より感謝申し上げます。

厚生広報委員会として報道各社への取材要請を主として担当してまいりました。

しかし、必ずしも当日の天候や突発的な出来事によって取材していただくことが出来ないことも有りました。

取材していただくことは、目的のごく一部であり、接した市民のお一人おひとりが私どもの活動を通じてビルメンテナンス協会の在りようを理解いただくことに繋がればと念ずる次第であります。

要は、この活動は継続することが大事であり、時代と共に内容が変わろうとも継続することに意義を見出して行きたいと考えております。

本年も参加できることを楽しみにしております。

第6回「クリーンアップ福岡」 スナップショット

